

審査委員
特別賞
(リフォーム)

鳥取県

磯江 知弥

合同会社グラムデザイン一級建築士事務所

【作品名】東郷のビル

設計	合同会社グラムデザイン一級建築士事務所
施工	株式会社 辻工務店
竣工日	2019年10月1日

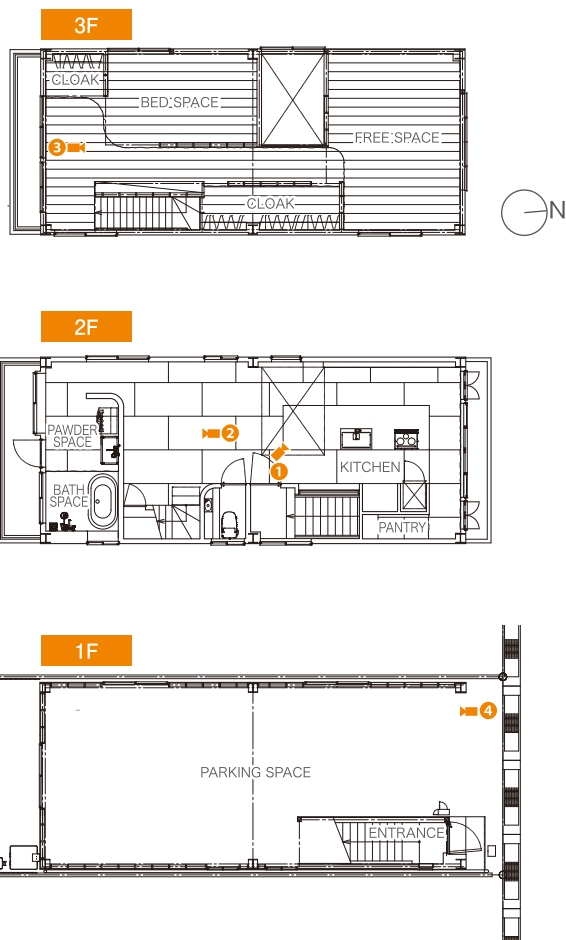
◎建物概要

建設地	鳥取県東伯郡	延床面積	166.83㎡
敷地面積	80.48㎡	構造・規模	鉄骨造3階建

◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



① 大きなテーブルは作業、料理、食事等、様々な活動を広げることができる大きさとし、その受け皿として十分な強度を保てるよう、天板はモルテックス塗り、脚部はスチールで造り付けた。
② 内部は間仕切り壁を最小限にし、ほぼワンルームに仕上げている。



③ 3階のカーテン間仕切り。カーテンレールを農業用パイプを加工しRをつくり、素材だけでなく、形状による柔らかさも意識した。



④ 駐車場。店舗部分をほぼ解体した状態でとどめている。ものづくりのスペースとしても活用しているが、これからの生活で必要に応じて改変することができる余白を有した場所とした。

設計コンセプト

鳥取県の中部、湯梨浜町の中心に位置する東郷池を目の前にした鉄骨造3階建てを改装した自邸である。

1階はもともと店舗であったが、ほぼ解体のみで工事を済ませ、駐車と作業スペースとしている。

2階から始まる生活スペースは床をフレキシブルボードで仕上げ、そこにキッチンとテーブルの機能を兼ねた大きさの家具を設えた。

2階南側には間仕切り壁を自立させ、バススペースとリビングスペースをゆるく分け、2・3階は新たに作った吹き抜けと階段を介して縦方向に繋がり、室内全体を大きなワンルームとなる構成とした。

2階から3階への階段はMDFで造り、寝室とクロークスペースからなる3階は床を杉板貼りとした。1階から3階へ上がるにつれ、常に触れている部分である床素材に変化をもたせ、柔らかさと温かみのある木質素材へのグラデーションとなるよう素材を選定している。ワンルームの

中に活動的なスペースから休むスペースへ移動するなかで、生活リズムを身体的にも感じられるサーキュレーションをつくりだした。

また、ワンルームの中で日常の行動に合わせた室容積となるよう、比較的柔軟性のある間仕切りをつくり、室内環境を繋げながら部分部分の設え等で部屋用途が分けられるようにしている。

室内の天井と内壁はどこでもビスにより家具などが取り付けられるよう、合板貼り。その上に山陰の曇り空との親和性をもたせるため、青みがかった白色に塗装した。現在も少しずつこの住まいに手を加えており、生活に必要な設えや、経年で改修が必要な部分等、自ら施工できる部分にはできる限り自分の手をかけ、かたちにおくための思考を続けている。ここで生活する私達家族が、大きな空間の中で繋がりながら、それぞれの活動を広げられ、また変化を続けることができる住まいとなったように感じている。

審査委員講評

6本柱鉄骨造の改装。間仕切りと建具で間取りをつくるのではなく、ワンルームの矩形の箱にRの自立壁やRのカーテン仕切り、MDFの階段等、生活のための最小限の措置で空間を構成しています。曇り空のような白っぽい空間の中に、家具のような記号のようなものが点在したシュールな空間が生まれています。これからの展開が楽しみな家です。